

在来線レール削正車の新型車両への取替について

当社は、新幹線・在来線ともに、大型の保守用車（レール削正車）を用いてレール表面を削ることにより、レール表面の傷の発生予防に取り組んでいます。

このたび、在来線のレール削正車について、新型車両に取替えることで削正能力の向上を図ることとしましたので、お知らせします。

1. レール削正車

- レール削正車は、車体下部に高速回転する複数の砥石を搭載した大型の保守用車で、低速（時速5 km程度）で走行しながら、レール表面を削ります。

2. レール削正の目的（別紙）

- 列車がレール上を繰返し通過すると、レール表面は傷が発生しやすい状態に変化します。そこで、傷が発生する前に定期的にレール表面を削り予防することで、レールの寿命を延ばすことができます。
- 在来線では、列車本数が多い東海道本線・中央本線を対象に、列車が走らない夜間の時間帯を利用して、レール削正車によりレールを削っています。

3. 新型レール削正車の特長（別紙）

- 削正制御装置を改良することで、砥石のレールへの押しつけ力を強化し、従来よりも速度を上げて（時速8 km程度）レールを削正することができるため、削正能力が現行の約1.5倍となります。

	現行	新型
車両外観		 ※写真はイメージ（外観は塗色）
削正能力	200m/h	300m/h
メーカー	スペノ・インターナショナル社 （本社・スイス）	スペノ・インターナショナル社 （本社・スイス）

※レール削正車は、1度の走行で0.02 mm程度の削正を行い、同じ箇所を繰り返し走行（3往復程度）して、1回の作業で0.1mm程度の削正を行います。

※当社では、品質・価格・アフターケアに優れた製品を、広く国内外に求めております。

3. 使用開始時期

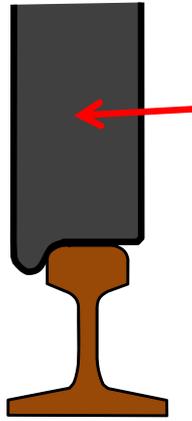
平成30年度初（予定）

4. 設備投資額（概算）

約11億円

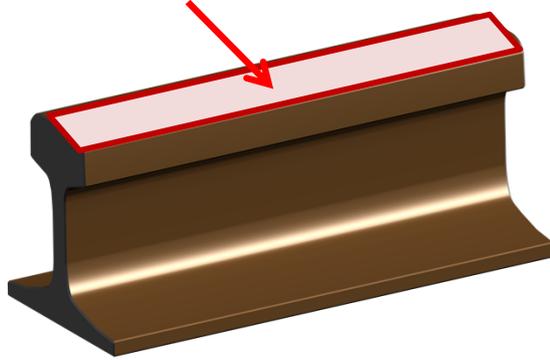
■ レール削正の目的/新型レール削正車の特長

①: 列車がレール上を繰返し通過



車輪

レール表面は傷が発生しやすい状態に変化

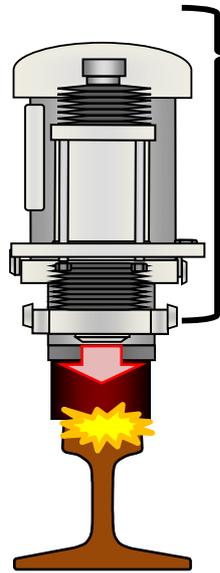


②: レールの削正作業

・傷が発生する前にレール表面を削ることで、レールの寿命を延ばす



高速回転する砥石



削正制御装置

今回改良点

- ・装置の出力向上
- ・動力伝達機構の改良



- ・レールへの押しつけ力強化
- ・削正能力現行比約1.5倍

③: 削正前後のレール表面

削正前



削正後

